

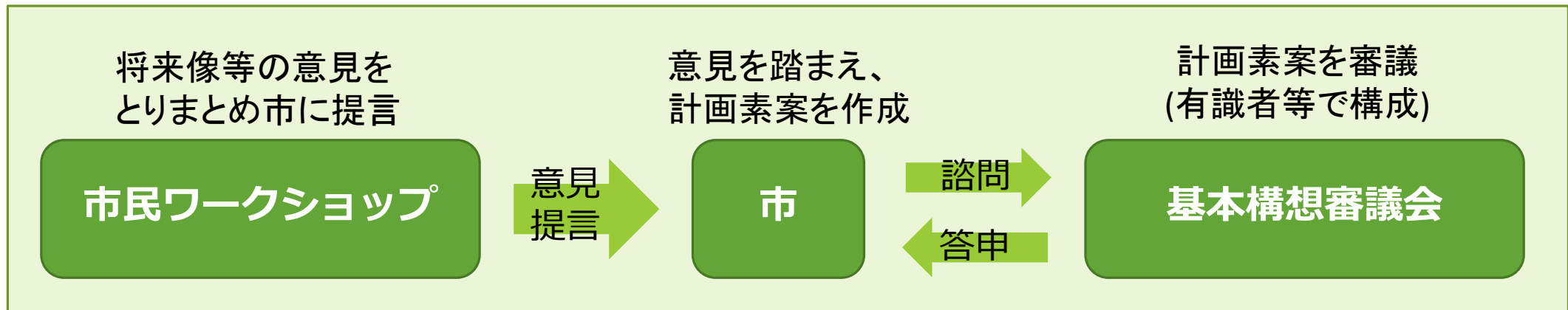


第5次総合計画基本構想 市民ワークショップについて

令和3年10月9日
交野市政策企画課

市民ワークショップとは

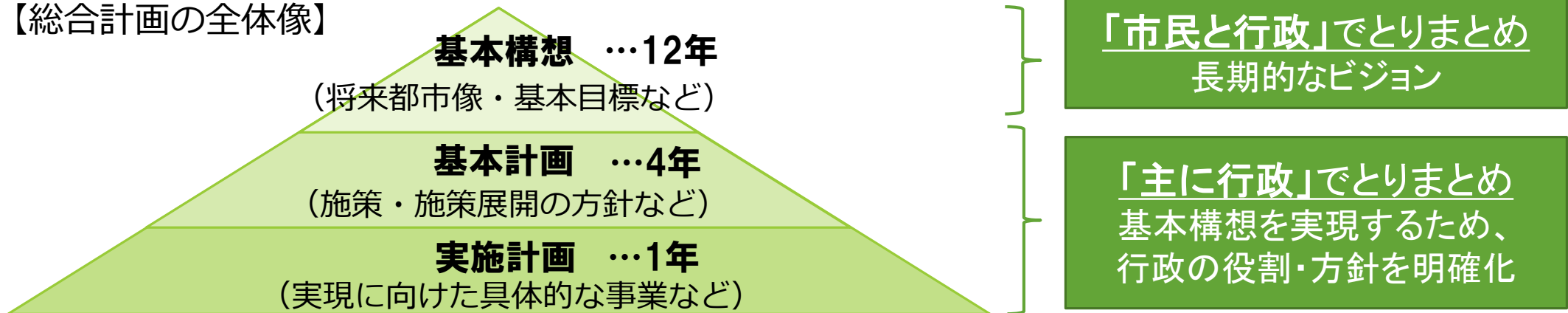
- 市民の皆さんで「交野市が目指すべきまちの将来像」などを語り合い、意見をとりまとめていくことを目的としています。
- とりまとめられた意見は、「第5次交野市総合計画基本構想（素案）」に反映します。



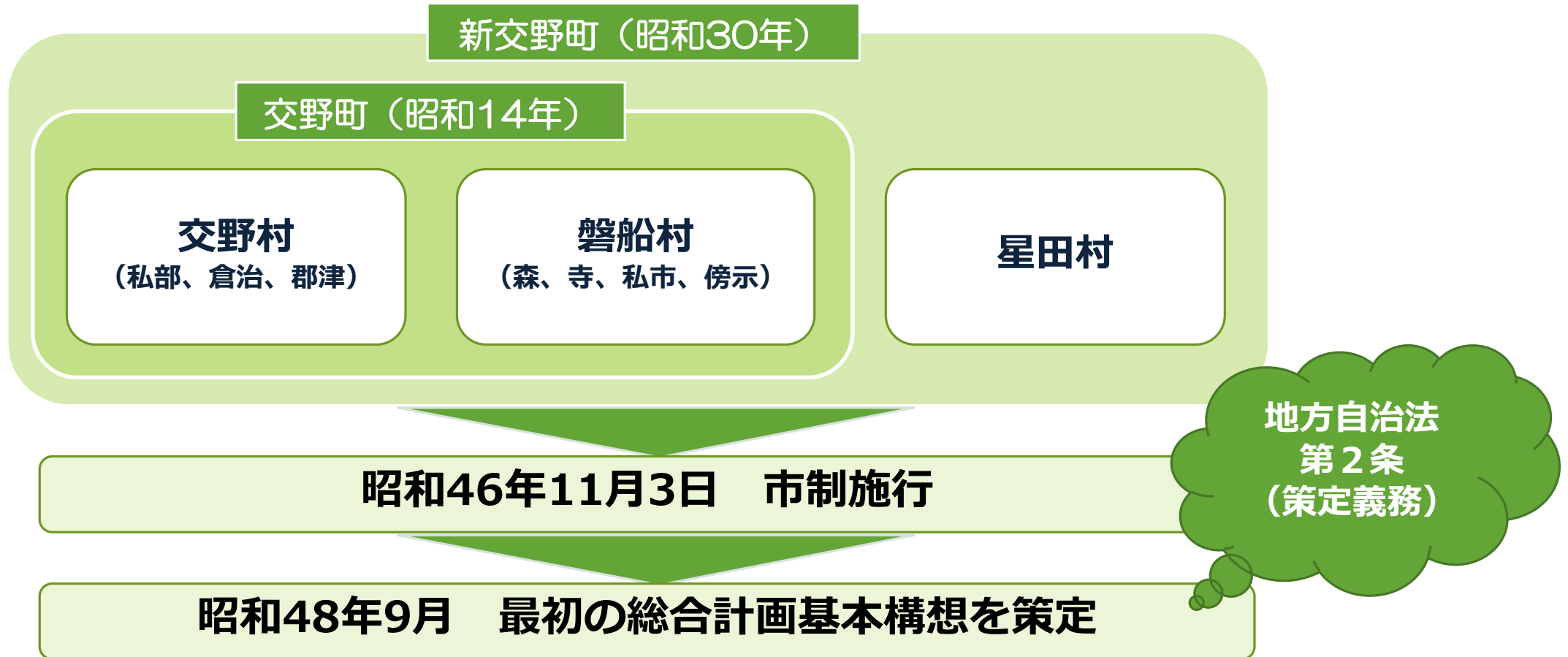
総合計画基本構想とは

- 総合計画とは、交野市が総合的・計画的にまちづくりを進めるための指針となる、最も大切な計画です。
- 基本構想とは、総合計画において、「市民と行政が共有する長期的なビジョン」を掲げる重要な部分です。

【総合計画の全体像】



市制施行と総合計画基本構想



これまでの総合計画①

区分	計画期間	都市像・理念	人口目標	主な出来事
第1次 総合計画	昭和48年～ 昭和59年 (12年間)	人口7万人の緑豊かな小住宅都市	70,000人	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人口が急増（4.2万人から6.4万人へ） ◆ この間に小学校が6校、中学校が2校開校 ◆ 府道交野久御山線が開通（S51） ◆ 府民の森「くろんど園地」が開設（S53） ◆ 第1回交野まつりが開催（S59）
第2次 総合計画	昭和60年～ 平成12年 (16年間)	自然と文化の和むまち一かたの	望ましい人口 80,000人 都市基盤整備人口 100,000人	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人口増が緩やかに（6.4万人から7.7万人へ） ◆ ゆうゆうセンター、星の里いわふね、いきものふれあいの里が開設（H4） ◆ 京阪交野市駅西駅前広場がオープン（H6） ◆ 倉治図書館・いきいきランド交野が開設（H8・9） ◆ 星のブランコが完成（H9）
第3次 総合計画	平成13年～ 平成22年 (10年間)	水と緑が暮らし彩る星のまち☆かたの	100,000人	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人口増が頭打ち（7.7万人から7.8万人へ） ◆ 高齢化率の上昇（65歳以上割合、13%→21%） ◆ 河内磐船駅周辺整備（H13） ◆ 第1次財政健全化計画（H16） ◆ 第1回天の川七夕まつりが開催（H17） ◆ 第二京阪道路全線開通（H22）

これまでの総合計画②

区分	計画期間	都市像・理念	人口目標	主な出来事
第4次 総合計画	平成23年～ 令和4年 (12年間)	<p>みんなの“かたの” 基本構想</p> <p>あじわい・なりわい・ にぎわい “みん活”でわいわいと “かたのサイズ”なまち 暮らし</p>	<p>基本構想では 規定せず</p> <p>都市計画 マスタープラン 80,000人 (2020年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ <u>地方自治法改正により、基本構想策定義務が廃止。</u> 交野市基本構想条例を制定（H22） ◆ 人口減少へ転換（7.8万人からゆるやかに減少） ◆ 本格的な超高齢社会へ（高齢化率22%→28%） ◆ 市長戦略に基づく行政運営（4年×3期） ◆ 星の里浄水場開設、交野警察署開設（H24） ◆ おりひめ給食センター開設（H28） <p>【人口減少・少子高齢化を踏まえた考え方の整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 人口ビジョン（2040年に69,200人を目標）、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定（H27） ◆ 公共施設等総合管理計画・再配置計画、学校規模適正化基本方針

「第4次総合計画基本構想（みんなの“かたの”基本構想）」では、行政が進むための明確な特徴づけとして「市長の戦略」を位置づけています。

第4次総合計画における市長戦略

市長戦略	理念・テーマ	政策のポイント	主な取組み
中田市長 H23～H26	地上の星あふれる 実学交野創生戦略	① 織姫が住む七夕のふるさと、星のまち☆かたの ② 隅から隅まで交野つながりで自立 ③ 顔の見える化、支え合う相互支援 ④ 出会で人を、学びで力を ⑤ 美しく、やさしく、楽しい環境 ⑥ 声を集め、生み、伝え、広げる ⑦ 市役所を役に立つ場に。共治といえば交野	<ul style="list-style-type: none"> ● 天の川七夕まつりの開催 ● 産業振興基本計画の策定（交野ブランド「カタノのチカラ」創設） ● おりひめ支え愛プロジェクトの構築 ● 環境基本計画、景観まちづくり計画 ● ごみ減量化、リサイクル推進市民会議
黒田市長① H27～H30	ずっと“かたの” もっと“かたの”	① 住みたい、住み続けたいまちづくり ② 支え合う健康のまちづくり ③ 未来へつなぐ環境づくり ④ みんなで安心安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 星田北エリアのまちづくりを支援 ● 子どもの医療費一部助成を中学生まで ● 小学校全学年で35人学級 ● 移住定住促進「同居近居促進事業補助」 ● 公共施設等総合管理計画、財政運営基本方針
黒田市長② R1～R4	自然と人が共生し 子育てと地域の絆 で元気な交野！	① 子どもが元気に成長する環境づくり ② 支え合う健康・福祉のまちづくり ③ みんなで安全・安心なまちづくり ④ 地域の活力と雇用を生む基盤づくり ⑤ 未来へつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● あまだのみやちどりこども園の開園 ● 登下校見守りサービス「OTTADE!」導入 ● 子育てアプリ「おりひめすこやかナビ」導入 ● 手話言語条例の制定、星田会館図書館を開設 ● 交野みらい学園施設一体型小中一貫校整備

第4次計画期間における変化（住民基本台帳等）

区 分	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
人 口	78,083人	77,588人
世 帯 数	30,870世帯	32,899世帯
高 齢 化 率	22.3%	27.9%
外国人登録数	456人	580人
出 生	350人	486人
死 亡	419人	717人
転 入	3,315人	2,539人
転 出	3,587人	2,566人

区 分 (保険料等)	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
国民健康保険 加入者	19,667人	14,622人
国民健康保険 保 険 料	1,743,767千円	1,560,863千円
後期高齢者 医療制度対象者	6,734人	11,220人
後期高齢者 医療制度保険料	634,054千円	1,122,244千円
要介護認定者	2,645人	3,856人
介 護 保 険 料	986,822千円	1,414,659千円

※ 事務事業概要実績報告書より作成

第4次計画期間における変化（暮らしの指標）

区 分	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
市街化区域	920ha	967ha
市街化調整区域	1,635ha	1,588ha
生産緑地面積	69ha	62ha
小学校児童数	4,967人	4,040人
中学校生徒数	2,413人	2,077人
放課後児童会 児 童 数	603人	878人
保育所児数	1,173人	1,413人
幼稚園児数	1,099人	1,070人

区 分 (保険料等)	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
ごみ焼却量	17,423千kg	17,357千kg
ごみ資源化量	2,424千kg	1,957千kg
一人当たりごみ 総 排 出 量	254.5kg/年	248.9kg/年
図書館貸出冊数	492,340冊	436,457冊
図書館利用者数	134,992人	126,104人
総出火件数	19件	13件
救急出動件数	2,809件	3,682件

※ 事務事業概要実績報告書より作成

第4次計画期間における変化（市の財政：歳入）

区 分	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
歳入総額	22,210,791千円	25,245,498千円
主な歳入科目	市 税	9,291,183千円
	地方交付税	3,442,069千円
	国庫支出金	3,216,079千円
	府支出金	1,384,599千円
	市 債	2,259,895千円

区 分 (市税内訳)	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
個人市民税	納税義務者	34,918人
	税 額	4,167,339千円
法人市民税	納税義務者	1,060人
	税 額	328,573千円
固定資産税	納税義務者	26,136人
	税 額	3,448,320千円
軽自動車 税	課税台数	22,532台
	税 額	79,717千円

※ 事務事業概要実績報告書より作成
 ※ 一般会計ベース（次頁も同じ）

第4次計画期間における変化（市の財政：歳出）

区 分	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
歳出総額	21,822,385千円	24,993,652千円
総務費	2,411,758千円	2,503,387千円
民生費	8,507,957千円	10,998,253千円
衛生費	1,668,155千円	2,160,754千円
土木費	1,806,179千円	1,986,848千円
消防費	657,500千円	904,403千円
教育費	2,263,991千円	3,013,269千円
公債費	3,900,338千円	2,661,566千円

主な歳出科目

区 分 (性質別内訳)	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)
人件費	4,747,577千円	4,976,249千円
義務的経費 扶助費	5,537,024千円	6,996,046千円
公債費	3,939,541千円	2,927,318千円

区 分 (その他)	平成23年度 (2011年)	令和元年度 (2019年)	
職 員 数	521人	525人	
健全化 比率	実質公債費比率	16.6%	9.4%
	将来負担比率	258.4%	86.7%
土地開発公社簿価残高	18,843,930千円	7,599,431千円	

交野市の人口減少対策①

■地方創生とは

- 人口減少・少子高齢化は、地域経済の縮小、社会保障費の増加、地域コミュニティの弱体化等に繋がり、市民の暮らしや行政運営に大きな影響を及ぼします。
- 地方創生とは「人口減少を克服するため、各地域がそれぞれの特徴を生かし、自律的で持続的な地域社会を創生すること」であり、平成26年以降、全国の自治体が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め、そのための考え方を整理しています。

■人口ビジョンとは

- 国勢調査や国の研究機関の推計等を元に、本市の人口動態を分析し、今後目指すべき人口の将来展望を示すものです。
- 人口減少に歯止めをかけるためには、「出生率を高め、若い世代の定住・来住を促すこと」で「バランスのとれた世代構成に転換すること」が必要であり、そのための取組みにより2040年に69,200人、2060年に60,800人を目指すこととしています。

交野市の人口減少対策②

■人口減少対策の方針

- 平成27年に「交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、4つの方針のもと、取組みを進めています。

子育て世代が魅力を感じるまち

待機児童の解消、子育て世帯の負担軽減、相談環境の整備、魅力ある保育・教育の推進等

多様な働き方に対応したまち

起業・創業支援、企業の立地促進・雇用促進、保育定員・放課後児童会の拡充等

住みたいまち、行きたいまちとして選ばれるまち

都市基盤整備（星田北まちづくり等）、同居・近居・リフォーム補助、シティプロモーション等

地域を守り、地域の元気をつくるまち

健康ポイント（アスマイル）、モノシェアリング、子ども見守りサービス、防災協力農地等

第5次総合計画に向けて

- この10年で、少子高齢化が進んだだけでなく、急速なグローバル化や情報通信技術の発達、大規模災害や感染症への対策、公共施設やインフラの老朽化対策など、対応すべき課題は複雑化しています。
- 一方、星田北まちづくりなどの新市街地の整備は進み、人口の社会増だけでなく、企業の進出も見られます。今後の阪神高速淀川左岸線延伸部や新名神高速道路等の整備により、まちの利便性が高まることから、地域活性化に繋がることが期待されます。
- 第5次総合計画（令和5年～16年、2023年～2034年）は、こうした社会背景を踏まえ、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の趣旨を内包したものとして策定を進めます。

第5次総合計画の策定方針

1. 地域社会の現状把握と、将来予測に基づく議論（人口推計等）
2. 新たな課題への対応（自然災害・公共施設老朽化・SDGs等）
3. 実効性のある進行管理の仕組み（基本計画・実施計画）
4. 多様な主体の参画と協働（共同による計画づくり）

市民意識調査

2,000人を対象に実施。アンケート調査結果を計画策定に活用します。【令和2年実施】また、令和3年度中に、追加アンケートも検討中です。

市民ワークショップ

まちの将来像等について意見をとりまとめ市に提出します。市は意見をもとに作成した「基本構想（素案）」を基本構想審議会に提出します。【令和3年10～12月頃予定】

基本構想審議会

有識者、関係団体、市民など20人で構成される会議体です。「基本構想（素案）」「基本計画（素案）」について審議します。【令和3年10月～4年9月頃予定】

パブリックコメント

基本構想審議会で審議された「基本構想（案）」「基本計画（案）」について、広く意見を募集します。【令和4年夏～秋頃予定】…令和4年12月議会に提出予定

協働で作成する意義

SDGsの視点も

市民にとって…

市と市民がともに目指すまちの将来像がわかる

市のこれからの具体的な取組みがわかる

自ら取り組んでいる活動の方向を見出せる

職員にとって…

日々の仕事の俯瞰的位置付けと目標が理解できる

最上位計画として予算編成や個別計画の根拠となる

日頃温めているアイデアを形にするきっかけになる

両者をつなぐコミュニケーションツールとなる

市民ワークショップについて①

■ どのような人が参加しているの？

10～70代の市民と学生及び市の若手職員が参加しています。

■ ワークショップのスケジュールは？

回	テーマ	日程
第1回	交野の良いところ、残念なところを考えましょう！	10月9日（土）
第2回	交野がどんなまちになったら良いか考えましょう！	10月30日（土）
第3回	目指すまちの姿を整理しましょう！	11月20日（土）
第4回	私（私達）ができることを考えましょう！	12月4日（土）
第5回	ワークショップのまとめを完成しましょう！	12月25日（土）

市民ワークショップについて②

■参加できない回もあるけど大丈夫？

毎回、ワークショップの内容を掲載したニュースレターを発行し、出席できなかった方にも内容を共有します。また、活動を周知するため、市のホームページでも公表します。

どうぞよろしくお願ひします。

交野市役所 企画財政部 政策企画課
TEL072-892-0121 (内線233・234)
Mail kikaku@city.katano.osaka.jp

